

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア（中学校第1学年）

1 めざす子どもの姿

(1) 身に付けさせたい言語の力

話題や議論の流れを的確にとらえ、事実と意見の関係に注意して話したり聞いたりする力
〈第1学年「A話すこと・聞くこと」(1)ア・イ・オ、「伝国」(1)イ〉

(2) 「身に付けさせたい言語の力」に関する子どもの実態

話合いが単なる自分の意見の伝達や意見の羅列の域から脱せず、お互いの意見を重ね合わせることで、よりよい解決策を引き出すというレベルには達していない。ただ、司会・書記・全体の報告者などの役割を決めて話し合うこと自体には興味をもっている生徒が多い。

(3) 年間指導計画上の位置付け

1学期には、「取材してスピーチで伝える」という学習を行った。目標は、相手の話を正確に聞き取るというものである。友達を紹介するスピーチを経験した生徒たちは、事実と意見の違いに少し関心をもつことができた。2学期の本学習では、さらに、論を支え、展開の中心となる意見を述べる部分とそれを支える具体例や引用などの付加的な部分の関係に注意するとともに、相手の反応を踏まえて話すことの大切さをバズ・セッションを通して学ばせたいと考える。

2 単元名

第1学年「話題をとらえて話し合おう バズセッションをする ～論理的な構成や展開を考えて話す～」

*活用した指導例「若者言葉」

[滋賀県学校改善アクションプラン推進協議会授業改善・調査部会(国語部会)作成]

3 題材観

民主主義社会が求める言語能力として最も重要なものの一つは、まずは相手の意見を受け入れ、その後、合意形成や意思決定を図る能力である。そのためにも、公平な話合いの難しさとともに、協力して意見交流を行う面白さも味わえるバズセッションの形態は有効である。特に、その提案や解決策が日常に活かせる課題であるとき、バズのような賑やかな話合いが経験できるであろう。本教材「若者言葉」は、そのような日常生活に目を向けた課題である。

4 学習目標

- ・日常生活の課題について意見を持ち、協力して意見交換ができる。(国語への関心・意欲・態度)
- ・意見と根拠、自分の考えや立場を明らかにし、相手の反応を踏まえながら発言できる。(話す能力)
- ・話題や議論の流れを的確にとらえて話し合うことができる。(話す能力)
- ・資料の中の話し手の言葉の用い方の効果に気付いたり、グラフから必要な情報を正しく読み取ったりすることができる。(言語についての知識・理解・技能)

5 評価規準 []は関連する指導事項

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・「若者言葉」を話し合いの課題として、進んで意見交換しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確して意見を述べ、説得力のある発言をしようと努めている。 〔話すこと・聞くこと(イ)〕 ・話し合いの目的を理解し、議論の内容を踏まえて発言している。〔話すこと・聞くこと(オ)〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き、自分の発言に生かそうとしている。 〔伝国イ(ウ)〕

6 学習計画(全5時間) []は関連する指導事項

次	時間	主な学習活動	評価規準、評価方法(☆)
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ①「論理的思考を鍛えることのは」(ミニドリル)を行う。 ②よい話し合いとは何かについて意見交換する。 ③学習全体の見通しをもつ。 ④論理的思考とは何かを「きのこVS. たけのこ論争」(自作映写資料)で確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い学習や論理的思考に関心をもっている。 ☆ワークシートによる評価
	2	<ul style="list-style-type: none"> ⑤「論理的思考を鍛えることのは」(ミニドリル)を行う。 ⑥バズセッションという話し合いの形式を知る。 ⑦教科書掲載の課題「敬語」をテーマに選ぶ。 ⑧自分の考えをもつとともに、その根拠を整理する。 ⑨司会・記録・報告等の役割やメモの取り方について学習し、グループごとに担当を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活から課題を見つけ自分の考えやその根拠をまとめようとしている。〔話すこと・聞くこと(ア)〕 ☆ワークシートによる評価
	3	<ul style="list-style-type: none"> ⑩「論理的思考を鍛えることのは」(ミニドリル)を行う。 ⑪留意点を確認し、ミニ・バズセッション体験をする。 ⑫ミニ・バズセッションを振り返り、課題を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ・バズセッションに進んで参加し、その方法と進め方をつかもうとしている。 ☆観察による評価
二	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ⑬「論理的思考を鍛えることのは」(ミニドリル)を行う。 ⑭全体の進め方を確認する。 ⑮資料「若者言葉」をもとにバズセッションをする。(4人グループ) ⑯グループごとに報告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題や議論の流れをとらえて話し合っている。〔話すこと・聞くこと(オ)〕 ・事実と意見の関係に注意し相手の反応を踏まえて話している。〔話すこと・聞くこと(イ)〕 ・各担当の役割を理解して実践している。〔話すこと・聞くこと(オ)〕 ☆観察やワークシートによる評価

5	⑰「論理的思考を鍛えることのは」(ミドリル)を行う。 ⑱バズセッションを振り返り、課題を整理する。	・客観的な自己評価ができてい る。 ☆ワークシートによる評価
---	--	--------------------------------------

7 本時の学習目標

バズ・セッションに参加し、意見を重ね合うことにより「言葉」について考えを深め合うことができる。

8 本時の学習過程

過程	学習内容および学習活動		指導上の留意点、評価(◎)
	学習内容	学習活動	
導入	1 基礎学習を行う。 2 バズ・セッションの流れを確認する。	①「論理的思考を鍛えることのは」(ミドリル)を行う。 ②バズ・セッションの進め方を確認する。 ③本時の課題、目的、留意点、役割分担を全員で確認する。《司会・記録・報告・コメント係》	・「現代の若者たちが日ごろ使う言葉」について知っていることなどを交流させる。 ◎進んで学習活動に取り組もうとしているか。
展開	3 「若者言葉」…資料【A】の会話について話し合う。 4 「若者言葉」…資料【B】のグラフについて話し合う。 5 日常の言葉遣いについてバズ・セッションを行う。	④aとbの「やばい」の意味の違いについて話し合う。 ⑤グラフから分かる事実をとらえる。 ⑥資料【A】【B】のような言葉の使い方についてどう思うか、自分の考えを書きまとめる。 ⑦バズ・セッションする。 ⑧司会者は、グループの意見を整理し、結論をまとめる。	・これまでとは違う意味で言葉が用いられていることを理解させ、他の例を挙げさせる。 ・これまでとは違う言い方をする傾向が強まっていることを理解させ、他の例を挙げさせる。 ◎文章やグラフからの情報を正しく読み取り話している。 ・意見の根拠を明らかにして書かせる。 ・メモを取りながら聞かせる。 ◎互いの話を聞き合い、協力的に話合いに臨めたか。
整理	6 グループごとに報告する。	⑨記録をもとにグループの意見を全体に報告し、意見の交流をする。	◎協力して、聞き手が分かりやすい報告ができたか。